

日赤なごや

VOL.

83

WINTER
2024

新年のご挨拶

Professional Style

細胞診分子病理診断部

安村 奈緒子 臨床検査技師

栄養のいろは

中食で何を選びますか？

登録医療機関紹介

かかりつけ医をもちましょう

お知らせ

- HCU病棟の稼働を開始しました！
- 内視鏡センター増築について
- バースセンターで産後ケア入院をおこなっています

イベント 掲示板

- がん相談支援センターをご利用ください
- がんサロン「コスモス」再開のご案内

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



日本赤十字社

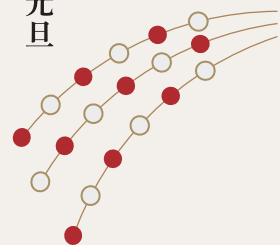
日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 救命救急センター
- 総合周産期母子医療センター
- 地域中核災害医療センター
- 造血幹細胞移植推進拠点病院



新年のご挨拶

2024年元旦



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院
院長 錦見尚道



アフターコロナの病院「新」機能

あけましておめでとうございます。昨年は11月初めまでは暑いくらいだったのが、急に冬の寒さに移りましたが、皆さんが健やかに新年を迎えられていることとお慶び申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染

症の行政的取り扱いが変わり、半年以上経ちました。感染者数は、季節性インフルエンザと同じように定められた医療機関の患者数報告に基づく「定点報告」に変わり、既に何回かの増減をくり返しています。昨年5月

以後は、対面の会議や講演会などが多く開催されるようになりました。この4年間に使い慣れたオンラインでの参加もできますが、対面の集まりが急速に増えています。画面の中と、目の前にいる相手では、口に出る言葉は同じですが、存在感とか身振りとかが、非言語的情報の有無で随分違いがあることを改めて実感しています。

季節性インフルエンザが2年間流行しなかったため、インフルエンザ感染の拡大や重症化の可能性が高いとして、インフルエンザの予防接種が例年以上に推奨されました。年末進行での11月下旬現在の状況では、寒さを感じる時期が遅かったためか接種があまり進んでいないようでした。

アフターコロナになり、地域の皆さんに更に便利で充実した医療を提供するため、外来部門を中心に何力所かの改装を行いました。4月には、初診時・入院時・退院時などに、患者さんからの様々な相談に同じ場所

対応できる「相談支援センター1階」として正面入口右手に纏めました。ここには、看護師、医療社会事業司、薬剤師、管理栄養士等、他の医療機関との連携担当者が揃っていますのでお気兼ねなくご利用ください。11月中旬には、場所を拡げて機能をアップした内視鏡センターができました。鎮静剤を使うと、不快感を感じないで内視鏡検査ができます。しかし、鎮静剤の効果が残っているとふらついて転んだりする危険があるので、効果がすっかり無くなるまでの間、落ち着いて横になれる場所を整備しました。12月には「相談支援センター2階」を開設しました。外来診察室では、自己注射を上手に行う方法や、栄養療法、在宅酸素療法、手術を受ける方への説明等をする場所・時間が不十分でした。今まであった会議室を移動し、時間が限られた「診察」室以外で、このような情報・手技をお伝えする場所となります。

当院のこれらの変化に戸惑われる事もあるかと思えます。ご提案、改善点などありましたら、直接担当者に、又はご意見箱などでお伝えいただければ改善に繋がりたいと思いますので、機能を強化した当院を本年もよろしくお願いたします。





細胞検査士はミクロの世界で
がん細胞の早期発見に取り組んでいます。

細胞検査士は、細胞診を専門とする
臨床検査技師です。

がんは細胞が異常に増殖する病気です。小さな異変をいち早く見つけることが大切です。

細胞診は、患者さんから採取した少量の粘膜や分泌液、胸水、腹水、尿、痰などの中にがん細胞があるかどうかを調べる検査です。スライドガラスに細胞を塗って特殊な薬品で染色し、顕微鏡で観察します。低侵襲で比較的安全に検査ができるため、子宮頸がんや肺がんなどのがん検診にも活用されています。

人間の身体は約60兆個の細胞で出来ており、その種類は数百種にも及ぶと言われています。正常な細胞には部位ごとに決まった形や大きさがあり、異常が起こると歪な形になることがわかっています。細胞の形態を病理では「顔つき」と表現するのですが、よく似た多くの細胞の中から強面(異型)の細胞だけを見つけ出し、推定診断して細胞診専門医(病理医)に報告するのが細胞検査士の仕事です。また、確定された診断結果を主治医に報告する役目もあります。

精度の高い検査を迅速に行うために、
様々な工夫をしています。

がんの疑いがある時に、確定診断の決め手となるのが細胞診と組織診^{※2}です。組織は細胞のかたまりですから、2つの検査を兼任する場合がありますが、当院では分業化して個々の専門性を高めています。

専任の成果の一つがTAT^{※3}(細胞の採取から診断報告までの時間)の早さです。概ね3~5日を目安とする他院に比べ、当院は半分の早さで対応しています。患者さんの腫瘍が良性ならば安心を、悪性ならば早期治療につながる一步を速やかにお届けすることを目指しています。

私の部署では、担当した症例のスライドを細胞診専門医と細胞検査士とで観察し、ディスカッションする「目合わせ」を毎日夕方に行っています。一人ではなく複数の視点で観察することで、一つ一つの検査精度を高める努力をしています。

経験を積みれば積むほど、細胞の「顔つき」の違いが見えてきます。

ベテランと新人の細胞検査士の違いは、

診断の早さと思の過程です。一つのスライドを見た時に、推定診断の候補をどのくらい多く思い浮かべられるかで検査の精度は変わります。正常・異常の見極めは患者さんの治療に影響しますし、そもそも細胞は複雑で判断するのが難しい…。日々経験を積み、研鑽し、いかに説得力のある検査結果を出せるかが私たちの課題です。そのため学会などにも積極的に参加して、希少な症例を報告したり、学んだり、情報交換したりして診断のスキルを磨いています。

近年はDNAの解析技術が進み、細胞診検体を用いた遺伝子検査も身近なものになっています。また遺伝子異常に合わせた分子標的薬も次々と開発されており、個別化医療に臨床検査技師が関わる機会が増えています。

細胞検査士になって12年。これからも臨床検査を通して病気に苦しむ患者さんのお役に立てるよう、細胞診の技術向上に努めるとともに、遺伝子検査についても精力的に学んでいきたいと思っています。

※1 認定試験の難易度が高く、資格保有者は全国でわずか約6,000人。

※2 病変の一部を組織ごと採取する検査

※3 Turn Around Time

栄養のいろは

・第11回・中食で何を選びますか？

コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどで弁当や惣菜を購入する、外食店のデリバリーを利用するなど、家庭外で調理したものを食べる食事の形態を「中食」といいます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、中食を利用する方も増えたのではないのでしょうか。手軽に食事を用意できることは中食のメリットの1つです。しかし、栄養バランスが偏りやすい、食塩や脂質の摂取量の増加につながりやすいという面もあるため、選び方の工夫が必要です。

ポイントは、主食(ごはん、パン、麺類など)・主菜(肉・魚・卵・大豆などを主材料とする料理)・副菜(野菜・きのこ・海藻などを主材料とする料理)の3つの要素を揃えること。この3つを揃えることで栄養バランスのとれた食事へと近づきます。

例えばコンビニエンスストアで食事を購入する際に、おにぎりと

菓子パン、おにぎりとカップラーメンなどの組み合わせになっていませんか？このような場合、主食に偏ってしまいます。そこで、主菜の要素としてサラダチキンやゆで卵、副菜の要素としてサラダやお浸しなどの野菜のおかずをプラスするのがおすすめです。

手軽で便利な中食は、上手に活用すれば忙しい毎日の心強い味方です。中食を利用する際は、組み合わせを意識して商品を選択してみてはいかがでしょうか。





お知らせ

HCU病棟の稼働を開始しました！

HCUとはハイケアユニット(High Care Unit)の略で、日本語では「高度治療室」と呼ばれています。当院救命救急センターでは救命B病棟がこの位置に相当します。

2022年より準備を始め、昨年年明けから西棟5階病棟を改装、4月より新たにHCUとして24床の運用を開始しました。6月より「ハイケアユニット入院医療管理料1」を算定しています。

HCUでは大手術後の方や救命救急センター退室またはICU退室となった方、一般病棟で状態が悪化し対応が

難しい方(主に院内迅速対応チームが評価しています)、特殊な酸素療法や薬剤を使用しているCOVID-19の方といった集中治療室程ではないですが、診療・看護に重点を置くべき患者さんを受け入れ、治療・ケアを行っています。

重症の患者さんにつきましては、入院されている病棟が刻々と変わるので驚かれるかもしれません。病気や怪我の状態と時期に応じて、より安全な入院生活ができるよう新設HCU活用も含め努めて参所存です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

集中治療部長兼救急部長 都築 通孝



内視鏡センター増築について

2023年4月から始まった内視鏡センターの改修工事が、11月に終了し、現在新しい環境で内視鏡検査及び治療を行っています。

今回の改修工事では、①リカバリー室の拡充、②透視室の拡充(Cアーム導入)、③処置室の増設、が主なものになります。

①昨今、患者さんからの要望が多い鎮静での内視鏡検査や、下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)の前処置(下剤の服用)を院内で行えるように、リカバリー室を拡充(4ベッド→10ベッド)しました。

②気管支鏡検査や、逆行性胆管膵管造影(ERCP)において、より高度な検査及び治療が行えるように、汎用X線透視診断装置として最新のCアームを導入しました。

③内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を中心とする、内視鏡治療を効率的に行えるように、新たに1部屋増設しました。

より良い環境での内視鏡検査及び治療が可能となりましたので、不安の方は、まず消化器内科・呼吸器内科を受診ください。

第二消化器内科副部長 藤吉 俊尚



リカバリー前処置室



透視室



処置室
(ESD部屋)

バースセンターで産後ケア入院をおこなっています

バースセンターでは産後ケア入院をおこなっています。産後ケア入院では、お母さんが赤ちゃんと安心して過ごしていけるように助産師が支援をしています。

産後ケア入院をご利用いただける方

産後6か月までのお母さんと赤ちゃん（ただし離乳食開始前まで）が対象になります。

当院は名古屋市、大治町、清須市、あま市の産後ケア事業の委託施設です（2023年11月時点）。この4市町に住民票のある方は、お住まいの保健センターにお問い合わせください。

こんな場合におすすめ

初めての出産＆育児のスタートで、退院後の赤ちゃんとの生活が心配な方

➡ 出産後、お家に帰る前に引き続き産後ケア入院ができます。

赤ちゃんが生まれてすぐにGCUに入院となったため、赤ちゃんと一緒に過ごしていない方

➡ GCU退院後、お家に帰る前に赤ちゃんと一緒に産後ケア入院ができます。

お家で育児を頑張ってきたけど、睡眠不足や疲労が重なり、少し身体を休めたい方

➡ お母さんの体調をみながら、支援していきます。



助産師からのメッセージ

育児で孤立してしまいがちなお産後の時期、お困りの場合には産後ケア入院を利用してみませんか。当院では、お母さんと赤ちゃんのそばにいつも助産師がいます。お産後の心配や悩みをお母さん一人で抱えないでご相談ください。

産後ケア入院について詳しくお知りになりたい方は、当院のホームページをご覧ください。ご相談やお申し込みは、妊娠中、出産後の入院中、退院後いつでも可能です。

スタッフ一同、お待ちしております。

バースセンター看護師長 大島 和美



産後ケア入院用の部屋



イベント 掲示板

がん相談支援センターをご利用ください。

がんに関する様々な悩みごとについて、専門の相談員がお話を伺います。お気軽にご利用ください。

相談時間 平日8:50～17:20
(12月29日～1月3日、5月1日を除く)

場所 相談支援センター 1階

がんサロン「コスモス」再開のご案内

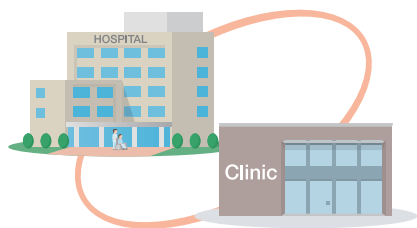
がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を再開しました。ぜひご参加ください。

開催日 毎月第4火曜日

●1月23日(火) ●2月27日(火)
●3月26日(火)

時間 14:00～15:30

場所 管理棟3階 会議室3



登録医療機関紹介

かかりつけ医をもちましょう

安田内科 クリニック

住 所

〒453-0811
名古屋市中村区太閤通9丁目17番地

電話番号 052-482-1401

院 長 安田 裕

診療科目 内科、糖尿病内科、漢方内科、老年内科

専門分野 内科、糖尿病内科、漢方内科、老年内科

休 診 日 木曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:30、17:00～20:00
(月・火・水・金曜14:00～17:00は往診)



当院では身近なかかりつけ医として、高血圧、高脂血症、糖尿病、メタボリック症候群、胃腸肝疾患、ものわすれ、在宅医療、漢方薬など内科全般の診療を行っています。また、各種検診(特定検診・後期高齢者医療健康診査・職場健診・ガン検診)や予防接種(肺炎球菌・インフルエンザ・風しん・带状疱疹・コロナなど)も行っています。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年12月1日時点の情報です。

太田内科 クリニック

住 所

〒454-0921
名古屋市中川区中郷4-45

電話番号 052-362-1771

院 長 太田 一隆

診療科目 内科、呼吸器科、アレルギー科、小児科

専門分野 内科、呼吸器科、アレルギー科、小児科

休 診 日 水曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:00、16:00～19:00(月～土曜14:00～15:30は訪問診療)



当院は名古屋市中川区中郷にあります「太田内科クリニック」です。地域における「かかりつけの医師」を目指して、2004年に開院いたしました。当院では、ぜんそく治療、生活習慣病の治療などお年寄りからお子さままで幅広く患者さんのご要望にお応えできるよう、努めてまいります。何でもお気軽にご相談ください。当院では治療のみならず、疾患の予防も含め個々の患者さんの健康状態、ご要望にあわせて治療をすすめていき、気軽に何でもご相談いただける様な関係を作りたいと考えております。お子さんからお年寄りまで幅広く皆さんに親しまれ頼っていただける様、スタッフ一同誠心誠意努力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年12月1日時点の情報です。

永田内科 クリニック

住 所

〒454-0972
名古屋市中川区新家1-1611
アスタウン医療ビル2F

電話番号 052-439-2112

院 長 永田 章

診療科目 内科、呼吸器科、アレルギー科、小児科、リハビリテーション科

専門分野 内科、呼吸器科、アレルギー科、小児科、リハビリテーション科

休 診 日 木曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:00、16:00～19:00



当院は小児科、内科領域の疾患を幅広く診療しています。地域に貢献できる「かかりつけ医」として患者さんに最適な医療を提供します。名古屋市中川区休日夜間診療所にて平日夜間、日曜日、祝日に定期的に執務をおこなっています。気管支喘息、アトピー性皮膚炎等のアレルギー疾患、咽頭炎、急性肺炎などの呼吸器感染症、リウマチ、膠原病などの免疫疾患の診断治療に取り組んでいます。睡眠時無呼吸症候群検査、および治療、在宅酸素療法に対応。頑固な慢性の咳がつづく場合はご相談ください。問診、視診、聴診を重視し、漢方医学にも力をいれて必要最小限の検査、投薬を心がけています。また、アスレティックトレーナーと連携し、運動器疾患である腰痛、肩痛、肩こり、ひざ痛などの不調の方に適切なアドバイスを送ります。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年12月1日時点の情報です。

医療法人 平野整形外科

住 所

〒453-0044
名古屋市中村区鳥居通2-24-1

電話番号 052-481-1266

院 長 平野 健一

診療科目 整形外科、リハビリテーション科、ペインクリニック外科、内科、リウマチ科、糖尿病内科、内分泌内科

専門分野 整形外科、リハビリテーション科、ペインクリニック外科、内科、リウマチ科、糖尿病内科、内分泌内科

休 診 日 水曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:00、16:00～19:00※内科診療は金曜の午前中のみ(予約制)



当院の院長は、15年間、地域の基幹病院や名大病院で主に脊椎背髄外科専門医・指導医として診療を行ってきました。その経験と技能を活かしながら、各種の整形外科疾患の診療に取り組んで参ります。皆さんに安心していただけるような丁寧な診療を心がけていますので、関節の痛み・背骨の痛み・リウマチの痛み・神経痛など何でもご相談ください。超高齢社会となり、骨粗鬆症の方の数も増えておりますので、先端の骨密度測定装置(腰椎・大腿骨)を用いて骨粗しょう症診断を行い、それぞれの患者さんに合う治療をご提案しています。どのような症状でも対応できるよう広々としたリハビリ室に、ウォーターベッドや超音波治療器、メドマー(空気圧を利用した波動型の医療用マッサージ器)や低周波治療器など豊富に機器を導入しています。また、患者さん一人ひとりの症状に合わせて理学療法士・作業療法士が、運動療法や物理療法など丁寧に行い症状を改善していきます。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年12月1日時点の情報です。

当院は高次機能病院として専門的な医療を行っています。一方かかりつけ医は皆さんの日常の健康管理を行っています。それぞれが連携し、患者さんの状態に応じて診察を行います。皆さんもかかりつけ医をもち、日頃の健康について相談できるようにしましょう。

ここでは当院と連携している診療所をご紹介します。

かかりつけ医

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

日ごろの健康管理
専門的な治療が
必要なら当院へ紹介

紹介

高度医療・専門医療
病状が安定したら再び
「かかりつけ医」へ

逆紹介

森医院

住 所

〒453-0054
名古屋市市中村区鳥居西通1-45

電話番号 052-411-0082

院 長 森 秀雄

診療科目 内科、循環器内科、小児科

専門分野 内科、循環器内科、小児科

休 診 日 木曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:00、16:00～19:00



当院は名古屋市中村区、中村公園周辺の内科クリニックです。内科・小児科・循環器内科の診察を行っています。また、予防接種も行っています。地域の皆さんが安心して生活していただけますよう、また、健康でなごやかな暮らしをお手伝いできますよう、スタッフ一同努めています。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年12月1日時点の情報です。

医療法人 伸和會 野崎クリニック

住 所

〒454-0943
名古屋市中村区大当郎1丁目1903番地

電話番号 [代表・産科・婦人科受付] 052-303-3811
[不妊治療受付] 052-303-4017 [小児科受付] 052-304-2592
[予防接種受付] 052-303-3519

院 長 野崎 宗信

診療科目 産婦人科、麻酔科、小児科 専門分野 産婦人科、麻酔科、小児科

休 診 日 [産科・婦人科] 火曜日午後・木曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日
[不妊治療] 火曜日、木曜日午前・土曜日午後、日曜日・祝日
[小児科一般診察] 火曜日午後・木曜日午後・土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 [産科・婦人科] 8:30～12:30、16:30～19:00
[不妊治療] 8:30～11:40、15:00～17:40
[小児科一般診察] 8:45～11:45、15:30～17:45



当院はアロマの香りにつつまれて、赤ちゃん誕生までの280日間を心おだやかに過ごし、ゆったりとした気持ちでお産ができますようお手伝いいたします。もちろん、緊急時の処置、帝王切開、新生児の処置にも迅速に対応いたします。「安全で快適な分娩」を実現するために、産婦人科医と助産師に加え、産科麻酔科医がチームとなり、計画無痛分娩を実践しています。産婦人科、小児科医がおり妊娠中と産後も安心して過ごしていただけます。また、産後のエステサービスも充実しています。全室個室で快適な病室（平成22年、本館の病室改装済）となっております。女性のかかりつけ医として健康な一生をサポートする存在でありたいと思っています。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年12月1日時点の情報です。

医療法人 古山医院

住 所

〒453-0804
名古屋市中村区黄金通1-10

電話番号 052-451-8002

院 長 古山 明夫

診療科目 内科、循環器内科、糖尿病内科

専門分野 循環器内科

休 診 日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日・祝日

診療時間 9:00～12:00、17:00～19:00



当院は名古屋市中村区にて、内科・循環器内科・糖尿病内科・小児科を診療しています。お子さんからお年寄りまで地域の皆さんに信頼される心のこもった医療を提供することを目標としております。お気軽にご相談、ご来院ください。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年12月1日時点の情報です。

医療法人 一栄会 宮本歯科

住 所

〒453-0835
名古屋市中村区上石川町3-21

電話番号 052-411-8054

院 長 宮本 正彰

診療科目 歯科、小児歯科、矯正歯科、歯科口腔外科

休 診 日 日曜日・祝日

診療時間 [平日] 9:00～19:00 [土曜] 9:00～16:30
※平日・土曜とも 昼12:30～14:00休診



最新治療や特殊治療を積極的に導入し、幅広い世代の、さまざまなお口のお悩みの治療に対応した、患者さんが満足される「的確な歯科診療」を最優先にしております。大切な歯を守るため、将来的な視野での治療を心がけており、予防歯科にも力を入れております。バリアフリーでエレベーターも備えており、車椅子やベビーカーでのご来院もできます。また、キッズスペースや保育士による託児サービスもあるので、小さいお子さんのいらっしゃる方にも安心してご来院いただけます。

ホームページ



メディマップ
掲載ページ



上記は2023年12月1日時点の情報です。

外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2024年1月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金
内科	血液	後藤辰徳	西田徹也	西田徹也・ PM宇野友梨	加賀谷裕介	森下喬允
		加賀谷裕介	AM福岡翔	後藤辰徳	AM内藤知希	石際康平
		PM石際康平	PM森下喬允	AM土門洋祐	PM中谷記衣	PM西田徹也
		PM土門洋祐	PM久保篤史	PM久保篤史・ 内藤知希	—	PM福岡翔
	内分泌	清田篤志	林祐里	尾崎信暁	土田真梨子	清田篤志
		土田真梨子	尾崎信暁	—	今瀧柚衣	林祐里
	腎臓	安田香	田口貴士	上田怜那	平松絵美子	横江優貴
	脳神経	新患	(交代)	大河内建	福野貴仁	三澤尚史
		再診	渡邊はづき	小谷慧	後藤洋二	渡邊はづき
			福野貴仁	二上和也	三澤尚史	大河内建
	循環器	新患	近藤史朗	黒田真之	宮本駿	足立健太郎
		再診	嶋野祐之	嶋野祐之	柴田義久	安田健一郎
			PM古田翔太郎	PM竹本賢人	—	—
			●第1.3.5金曜日(午後)専門外来			
	呼吸器	新患	横山 俊彦	竹山佳宏	小玉勇太 廣島正雄	稲垣雅康 都島悠佑
		再診	AM伊藤亮太 PM田中麻里	AM廣島正雄 PM松浦彰彦	稲垣雅康	横山俊彦
			—	山田悠貴	PM都島悠佑	竹山佳宏
小児科	消化器		土居崎正雄	山口丈夫	鷺見肇	山口丈夫
			鷺見肇 PM吉岡直輝	堀田佑義	春田純一 PM丸川高弘	土居崎正雄
			AM坂本旭美 PM野村真希	原啓文	藤吉俊尚	丸川高弘
			川瀬祐	—	三木大地	PM坂本旭美
	総合診療		宮川慶	—	宮川慶	PM榛葉誠
			福見大地	濱麻人	大城誠	福見大地
			榎本さやか	西門優一	秋田直洋	北澤宏展
			細川博紀	田中雅大	濱崎咲也子	上田真菜
	アレルギー		片山美花	相川拓哉	—	—
			—	—	—	—
			—	—	—	—
			—	—	—	—
	午後(専門外来)	循環器	三井さやか	—	—	福見大地
			血液	—	濱麻人	PM土居崎小夜子
			神経	—	—	竹内智哉
			腎臓	—	渥美愛 多代篤史	—
		新生児発達	浅田英之	中山淳	近藤真生	齊藤明子
			杉山裕一朗	神原紀香	—	—
			予防接種	(交代)	(交代)	—
			乳児健診	—	—	(交代)
外科	一般消化器外科		三宅秀夫	吉岡裕一郎	三宅秀夫	三宅秀夫
			浅井周平	柴田耕治	小林龍太郎	永井英雅
			—	関本晃裕	河合奈津子 百田浩太郎	若尾聖
	乳腺外科		岩瀬拓士	乳腺初診 (病診予約)	後藤康友	後藤康友
			照屋なつき PM(乳腺再診)	角田伸行 PM加藤明子	照屋なつき	山岸陽二
	心臓血管外科		澤木完成 所正佳	伊藤敬明(新患)	細羽創宇	—
	血管外科		—	佐藤誠洋	—	神原昌志 佐藤誠洋
	呼吸器外科		(交代) 福本藍一	(交代) 森正一	(交代)	(交代)
	小児外科		谷有希子	村瀬成彦	—	(交代)
	禁煙外来		毎週火曜日(12時30分~14時30分)			
	形成外科		菱田雅之 山本周平	—	山本周平	—
	整形外科	新患	高橋裕	武重宏樹	長谷川寛太	藤田友樹
			井上英則	山本英樹	八木秀樹	洪淑貴
			洪淑貴	石川尚人	高橋裕	山本英樹
			武重宏樹	大塚純子	祖父江康司	大塚純子
	股関節外来		長谷川寛太	藤田友樹	—	小牧健太郎
			—	—	大澤郁介 第2・4週	—

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科		服部健一	真宮崇	波多野寿		太田佑資
		(交代)	—	—	(交代)	藤谷繁
		—	—	大竹拓実		—
皮膚科		吉川真人	石原麻衣子	吉川真人	石原麻衣子	吉川真人
		石原麻衣子	磯部里香子	犬飼美紗子	犬飼美紗子	石原麻衣子
		磯部里香子	近藤春菜	近藤春菜	磯部里香子	近藤春菜
泌尿器科		小林幹典・ 加藤真史	平林裕樹	百田絢子	松山愛佳	平林裕樹
		鈴木省治	松山愛佳	加藤真史	加藤隆	阿部宏紀・ 百田絢子
腎移植外来		—	PM平林裕樹	—	—	—
女性泌尿器科		—	鈴木省治	PM加藤久美子	鈴木省治(新患) 第1・3・5週	—
	●新患は(木)にご来院ください。					
産婦人科	新患	安藤智子	廣村勝彦	伊藤由美子	齋藤愛	水野公雄
	再診	長岡明日香	AM鈴木美帆 PM水野公雄	AM坂堂美央子 PM黒柳雅文	AM廣村勝彦 PM正橋佳樹	AM近藤友宏 PM成田佑一郎
	生殖内分泌・内視鏡	齋藤愛	安藤智子	—	安藤智子	齋藤愛
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	AM福原伸彦 PM森永崇文	伊藤由美子	荒木甫	手塚敦子	AM告野絵里 PM森永崇文
		—	林紗由	—	—	—
	ハイリスク妊娠外来	AM津田弘之	—	—	—	AM津田弘之
	妊婦初診外来	PM津田弘之	—	—	—	PM手塚敦子
	多胎外来	—	—	—	(交代)	—
	パースセンター	—	福原伸彦	—	告野絵里	—
	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	
眼 科		佐藤英津子	—	佐藤英津子	(交代)	野坂光司
		(交代)		(交代)		(交代)
耳 鼻 咽喉科	新患	寺田聡広	降旗敏照	柘植勇人 長谷川雅俊	小澤亮太	稲垣計
	再診	柘植勇人	寺田聡広	寺田聡広	柘植勇人	降旗敏照
		稲垣計	横井麻衣	降旗敏照	稲垣計	小澤亮太
リハビリテーション科		八木秀樹 大塚純子	洪淑貴	石川尚人	井上英則	山本英樹
放射線科		山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也
		岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹
	●詳細は受付にお問い合わせください。					
歯科 口腔外科	新患	大岩伊知郎	佐藤春樹	(交代)	大岩伊知郎	(交代)
	再診	佐藤春樹	大岩伊知郎		—	
		長縄憲亮	長縄憲亮	—	佐藤春樹	—
			上田整	早川泰平		早川泰平
緩和ケア科	緩和ケア外来	水曜日 PM河合奈津子				

外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で「診療申込票」に必要事項をご記入の上、保険証・紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時
(緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休日 …………… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン …… 詳しくは相談支援センター1階、がん相談支援センターまでお問い合わせください。 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 052-481-5111 (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いいたします。

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 診療科部門 » 休診情報



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733

<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>



理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、
苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員・教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術など
基本的診療能力を習得するとともに、
診療に際し患者及び医療スタッフと良好な関係を構築できる人格を涵養し、
いかなる状況下でも人間の命と健康、
尊厳を守る医師としての社会的役割を
理解し実践できる。